



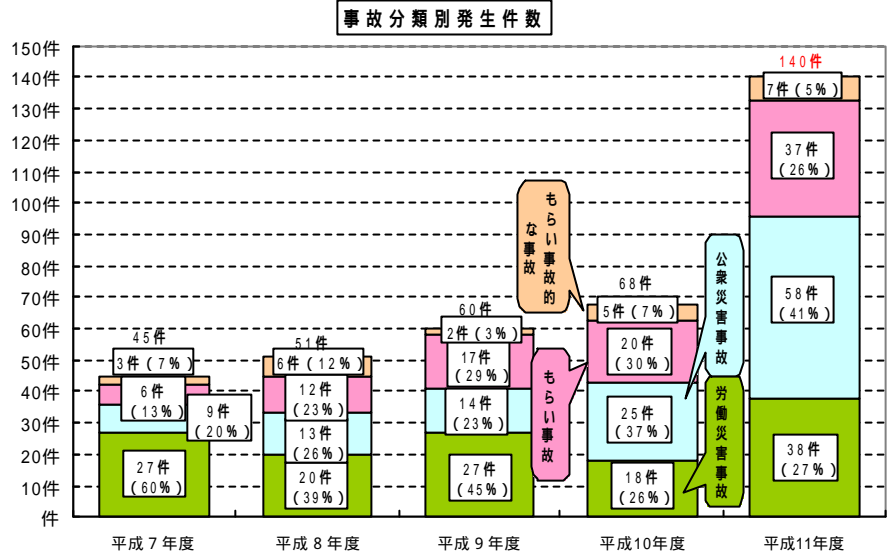
平成 11年度の事故発生状況速報<その 3>

《公衆災害事故が 41% を占め、“建設機械等”に関連する事故が多い！》

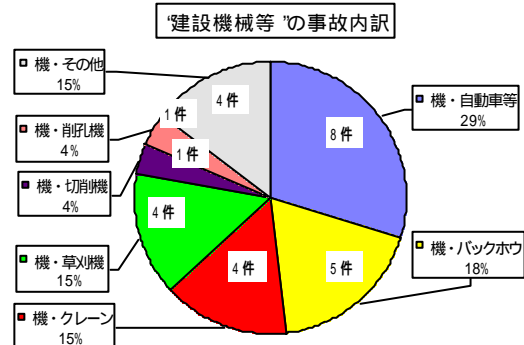
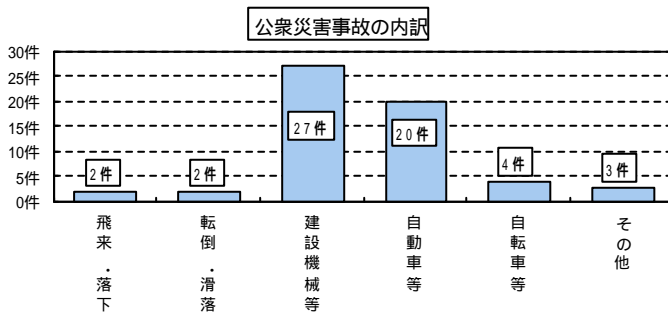
平成 11年度の発生事故状況の速報を取りまとめましたので以下に概要を示します。

平成 11年度の近畿地建管内における直轄請負工事関係の発生事故件数は、4月号で紹介した通り140件発生しましたが、

発生事故を種類別で見ると、工事施工側に起因して第三者（公衆）に何らかの被害を与えた事故「公衆災害事故」が58件（発生事故全体の約41%）と最も多く、平成10年度の約2.3倍の増加を示す結果となりました。また、平成11年度は右図で見る通り「もらい事故」「労働災害事故」の発生件数も増加する傾向にあります。



公衆災害事故の内訳を見ると、工事中トラック、クレーンやバックホウ等の建設機械運転手が運転操作を誤り第三者（公衆）に損害や被害を与えた“建設機械等”の事故が27件（公衆災害事故の約47%）発生しています。次いで、現道工事に伴う交通規制時に交通整理員の誘導ミスにより一般車などが被害を被った“自動車等”の事故が20件（同 約34%）発生しており、二種類の事故を合わせると47件にのぼり、公衆災害事故の約8割を占める結果となっています。



この内、“建設機械等”の事故内容は、工事中トラックや作業車運転手の前方不注意・安全確認不足等の安全運転義務違反により、第三者（公衆）に被害を与えた“自動車等”に係る事故が8件（建設機械等の約29%）、バックホウ運転手の独自判断や作業指示の不徹底・不注意等で水道管や情報管路などの地下埋設物を損傷させた“バックホウ”に係る事故が5件（同約18%）、ユニック車がブームを下げ忘れ一般道をそのまま走行して架空線を切断した“クレーン”に係る事故、除草作業の草刈機が小石を跳ね飛ばし一般車に損害を与えた“草刈機”に係る事故が各々4件（同15%）など、建設機械等の事故内容は建設工事特有の形態から多種多様な事故が発生していることから、公衆災害事故のおそれがある現道上の工事・作業を行う場合は、第三者（公衆）の安全確保を最優先とし、現場安全巡回・安全点検等を行い、安全に配慮した作業環境を構築することが大切です。（裏面に事例を掲載）

【 “建設機械等” の事故事例 】

“自動車等” に関する事故

工用道路と一般道との交差点において工用ダンプが交通整理員の誘導合図を誤認して発進し、走行して来た一般車と接触した。

“自動車等” に関する事故

防止対策

- ・建設機械運転手全員を対象に第三者最優先を原則とした安全運転について再教育を行う。
- ・交通整理員の誘導方法、合図動作等の明確化について再度教育・訓練する。

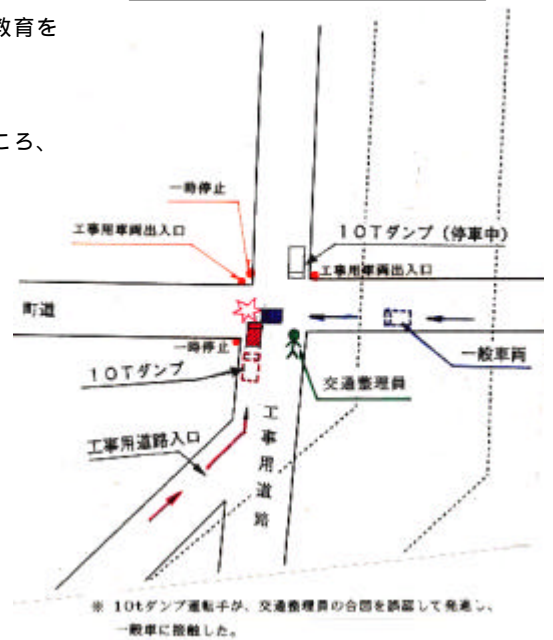
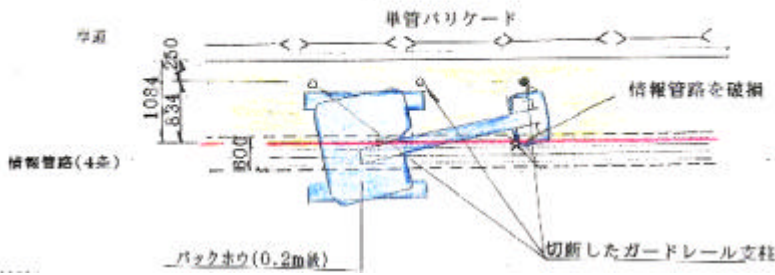
“バックホウ” に関する事故

ガードレール支柱を撤去するためにバックホウにより側方を掘削していたところ、作業指示が不徹底であった為に誤って埋設されていた情報管路を破損した。

防止対策

- ・作業指揮者を常時配置し、作業手順を指示してから作業を開始する。
- ・全作業員に対して地下埋設物件の周知徹底を図る。

“バックホウ” に関する事故



5月の事故速報

(平成12年5月31日現在)

発生日時	発生場所	事故の状況
5月11日 8:20	三重県	外構工事において、必要な資機材をダンプトラック(2t)より積み降ろした後、仮駐車場に入るため左折したところ、高速で追隨していた自動二輪車がダンプトラックの後部車輪に接触・負傷した。 〔第三者: 顎・腕部擦過傷、左足打撲 全治4日間〕
5月16日 8:20	京都府	トンネル工事の進入路(延長100m 幅15m 勾配19%)において、コンクリートミキサー車が進入路を登りかけたところ、進入路の一番上にダンプトラックが見えたため停止し、後進した際路肩側に寄りすぎそのまま約6m下の法面に転落した。 〔工事車両運転手: 脛骨・腓骨骨折 全治2ヶ月〕
5月16日 8:35	福井県	舗装修繕工事において、片側交互通行中の下り車線を交通整理員の指示により規制していたところ、停止位置の先頭から70m後方で4tトラックが停止直前の一般車に追突、その衝撃でさらに前方の一般車に追突した。 〔第三者: 首・腰・足の打撲等 3名が全治1週間未満の軽傷〕
5月17日 9:05	京都府	歩道整備工事において、10tユニック車を使用して平板ブロックの荷降ろし作業を行っていたところ、ユニック車のブーム先端が低圧線に引っかかり、架空線を切断・民地家屋の一部等を損傷させた。 〔物損: 低圧線切断、第三者家屋屋根一部破損(停電3件)〕
5月17日 10:30	大阪府	庁舎外構整備工事において、埋設配管の調査を行うため、タイル貼土間コンクリートを撤去するためコンクリートカッターにて深さ10cmの切断作業を行っていたところ土間コンクリートに埋め込まれていたガス管(20mm/m)を切断した。 〔物損: ガス管切断〕
5月17日 10:35	大阪府	築堤工事において、盛土に使用する土砂を搬送中、ダンプトラックの左方向から交差点を右折しようとした一般車と衝突し、第三者が負傷した。 〔第三者: 頭部打撲 全治1週間〕
5月20日 21:40	兵庫県	土質調査業務において、ボーリング調査中、囲いフェンス(H=1.8m)が突風により車道側にフェンス及び組立パイプ(40.5mm/m)がはみ出し、走行中のバスに接触した。 〔物損: バスの窓ガラス1枚破損〕
5月23日 0:55	京都府	鋼橋上部工事において、1車線規制を行い仮設足場を架設中、走行車線を走行中の一般車が交差点を通過後、工用囲いフェンス内に飛び込み保安施設に衝突した。 〔物損: 工用囲いフェンス、チューブライト、電源ケーブル〕

